

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ

Vol.87

AUTUMN
2022



AKWM

<https://akworship.com/>

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

油断と加油

工藤篤子ワースhip・

ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、
いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。
主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることは
ないと、あなたがたは知っているからである。

(コリント人への第一の手紙 15 章 58 節 口語訳)

「油断」は、油を断つと書きます。その語源には諸説あるようですが、信仰者にとっては、油断とはまさしく油である聖霊を断つこと、なるほどとうなずける言葉ではないかと思います。

マタイ 25 章には、5 人の思慮の浅い乙女と 5 人の思慮深い乙女の例話があります。思慮深い 5 人はあかり（ランプ）の中に油を用意していましたが、思慮の浅い 5 人は、あかりは持っていますが、その中に油を用意していませんでした。しかし花婿が遅れたので、皆うとうとと寝てしまいます。すると、真夜中に、「見よ、花婿が来た！ 迎えに出なさい！」という声が響きました。乙女たちはすぐにあかりを整えますが、思慮の浅い 5 人には油がありませんでした。そこで、急いで油を買いに行きましたが、その間に花婿が着いて、5 人の思慮深い乙女たちは一緒に婚宴の部屋に入り、そして戸が閉められました。その後で、ほかの乙女たちも遅れてやって来て懇願しますが、もはや開けてもらうことはできませんでした。

油を断つ、つまり聖霊に満たされていないということが、どれほど恐ろしい結果を招くことになるかを、この箇所は教えてくれています。イエス様を信じて救われたからもう天国へ行けると安泰に生きるのではなく、私たちは日々聖霊に満たされ続けて行かなければなりません。あの思慮の浅い者たちは、主から「わたしはあなたがたを知らない」と言われたのです。主が来られた時に、聖霊である油を用意していなかったがゆえに。

私は数年前まで、「頑張る」という言葉を極力使わないようにしてきました。頑張るとは肉の働き、私たちクリスチャンには全てを成し遂げてくださるイエス様がおられるのだから、委ねて待つべきという思いが強かったからです。もちろん、委ねて待つことは大事なことです。同時に、聖書には、ここかしこに、励みなさい、力を尽くしなさい、努めなさい、達成しなさいともあります。その意味に気付くようになってから、頑張るという言葉に抵抗なく使うようになりました。

中国語に、「頑張れ！」と励ます時に使われる、「加油(ジャーヨウ)」という言葉があります。頑張りに、まさしく油である聖霊を加えなければなりません。み言葉を行い、肉の弱さ、肉の欲、肉の思いに打ち勝ち、聖霊によって祈り、闘いの力と戦い・・・とにかく頑張らなければなりません。しかし、肉の力ではなく、御霊の力によって、私たちのためにその独り子さえも賜ってくださった天の御父と、十字架でその身を捧げてくださった主への愛ゆえに頑張るのです。パウロが語った、「自分のからだを打ちたたいて服従させる」(Ⅰ コリント 9:27) の意味が、ようやく分かるようになってきました。油である聖霊を絶やさず(油断せず)、聖霊の力をいただいて頑張りながら(加油)、そのように、今年の私のテーマであり、最高の賜物である神の愛を求めていきたいと、思いを新たにさせられているところです。

初代教会の賛美



今回のニュースレターから数回に亘って、教会の礼拝音楽の流れを、初代教会から辿ってみたいと思います。このことを通して、私たちは、賛美について学び、考え、そのあるべき姿を見出すことができるのではないかと思います。

● 迫害と教会の前進

ステパノの殉教から起こった迫害によって散らされた人々により、福音はフェニキア、キプロス、アンテオケまで宣べ伝えられていきました。このアンテオケで、弟子たちは、初めてキリスト者と呼ばれるようになりました。(使徒 11:26) いよいよ教会時代の始まりです。聖霊に満たされ、他国語で話す賜物を与えられた使徒たちは、それまでユダヤ教のシナゴグで歌われていた賛美や詩篇歌に加え、多くの信仰の歌、賛美、霊の歌を生み出していきました。モーセに率いられたイスラエルの女たちがタンバリンと踊りをもって神をほめたたえたように、またダビテやアサフ、コラの子たちがすばらしい賛美を創作したように、キリストによって神の贖いが成就してからはなおさら、聖霊が与えられた聖徒たちの心と口に神への感謝と賛美がわき上がったに違いありません。何より、教会時代の賛美の新しい出来事は、神の御子であり、私たちの救い主であるキリストをほめたたえる賛美が誕生したことです。

眠っている人よ。目をさませ。

死者の中から起き上がれ。

そうすれば、キリストが、あなたを照らされる。

(エペソ 5:14 新改訳)

キリストは肉において現れ、

霊において義と宣言され、

御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、

世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

(I テモテ 3:16 新改訳)

この二つの箇所は、当時の聖徒たちが歌っていた賛美歌だと言われています。当時の教会の礼拝で実際どのような賛美がささげられていたのか、今となっては知ることができませんが、この時代の面影を今でも引き継いでいると言われるいくつかの教会の礼拝から、初代教会時代の賛美をさぐってみたいと思います。

● アンテオケ教会 (現在のシリア)

先にも述べたように、アンテオケは初めて弟子たちがキリスト者と呼ばれるようになったところです。まだ新約聖書が編纂されていなかった時代、キリストの教えの伝達は口頭伝承でした。ユダヤ人たちがトーラーに「ふし」をつけて覚えるように、長大なキリストの教えの伝承を口頭で伝えるために、当時の信仰者たちも、やはり「ふし」をつけて覚えたようです。西シリアのヤコブ派教会(シリア正教会)では、イエス・キリストが話されたアラム語で、「ふし」を付けた聖書朗唱が今も続けられています。「ふし」は、みことばをその内容に応じ、また感情表現にふさわしくつけていくとき、それは生き生きとした響きになり、覚えやすくなるからです。同時に、「ふし」を付けて歌う朗誦自体が賛美歌でもあったわけです。そして、今のいくつかの教会でも行われている詩篇の交唱の習慣は、このアンテオケで始まりました。

キリスト教はその後、シリアから地中海沿岸の国々、つまり、西はギリシャ、ローマ、北はアルメニア、東はメソポタミア、南はエジプト(コプト)へと広がっ



工藤篤子 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで



主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円(税込)

「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられません」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。



よき力に守られて
定価 2,500円(税込)

ボンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「ああ感謝せん」など 14 曲。



ほんとうの願い
定価 3,000円(税込)

リュート奏者、今村泰典氏の賛美曲、バッハ、カステッロ、シュッツの作品、「キリストには代えられません」「いつくしみ深き」など 22 曲。



神だけが Dios tan solo Dios
定価 2,500円(税込)

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。



カンシオン Canción
定価 2,500円(税込)

「きみは愛されるため生まれた」「とこしえに真実なお方」「救い主イエスと」「なんて美しい都」「(ゴスペル) などライブ録音 14 曲。



Come To Me
定価 3,000円(税込)

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。



讚美 Adorar
定価 1,500円(税込)

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福満満」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。



ていきました。教会音楽というと、私たちは西洋で始まったもののように考えがちですが、福音の光が東方から昇ったように、キリスト教会音楽の歴史も、実は東方から始まったのです。

● コプト教会（エジプトの古代教会）

まず修道院制度は、このコプト教会から始まったことを特記しておきます。また先に述べたアンテオケでの詩篇の交唱は、実はエジプトの修道士たちの影響によって始められたと言われています。

エジプトでは、アントニウスによって始められた禁欲主義の修道士たちによって、「絶えず祈れ」という聖書の教えを守るために、詩篇を最初から最後まで一日中唱えるという習慣が生まれました。砂漠に住む修道士たちは、キリスト教徒たちの大きな尊敬を集めたようです。そして、キリストの復活祭日などにはたくさんの信者が修道士たちと一緒に徹夜で詩篇唱を唱え、女性も自由に参加して歌っていました。この詩篇唱の波はあっという間に全キリスト教会に影響を与えるようになりました。これを「詩篇唱革命」と呼ぶ人もいます。

1922 年、エジプトのオクシリノコスでパピルス紙に記された楽譜の断片が発見されました。ギリシャ文字で書かれたヒポリディア旋法（ファから始まる音階のギリシャ旋法のひとつ）によるキリスト賛歌です。これが今見ることのできる最古の聖歌の楽譜です。



● アルメニア教会

4 世紀以来の歴史を持つアルメニア教会の聖歌は、今なお当時の古アルメニア語で歌われています。歴史上最初のキリスト教国であるアルメニアは、ローマに 90 年先だって国王ティグリス 3 世の改宗により、キリスト教国となりました。グレゴリオ聖歌を確立させ

たグレゴリウスの子孫で、通称大イサクで知られているサハクー世（387-439）は聖歌の作者であり、またアルメニア文字の考案者と言われ、彼は歌の記号にも精通していたと言われています。ただしアルメニア独特の楽譜が現れるのは 9 世紀以降で、それは聖歌の節回しやアクセントの付け方などを示したものでした。

聖務日課で歌われる聖歌はシャカランと呼ばれ、一千曲以上あります。私はこの聖歌を、ハンブルグに住むアルメニア人オペラ歌手の友人に歌ってもらったことがあります。彼女の美しいドラマチック・ソプラノで歌われたシャカランを聞いて、感動で身震いしたことを今でも忘れることができません。これらの聖歌は、伝統的に今も無伴奏で歌われています。

● ゲルジア教会

アルメニアの西北に位置するゲルジアも、ローマより先の四世紀半ばにキリスト教を国教化しました。451 年のカルケドン会議（キリストが完全な神であり完全なる人であるという両性論と、受肉後のキリストの人性は神性に吸収されるので本来はただ一つであるという単性論が対立した会議。最終的には両性論が認められる）では、アルメニアと共に単性論を支持しましたが、600 年以降に両性論に転じ、東方教会（ビザンツ教会）の影響を受けるようになります。

ゲルジア聖歌は、ビザンツ聖歌から引用したものが多くありますが、他方ではゲルジア独特の聖歌も創られました。特徴は 3 声のポリフォニーで、主旋律を歌うムスハル（モザビル）、それと同じリズムで歌うバム、そして自由なリズムによるジルの三つの声部から成っています。

今回は、東方正教会の発展、そしてローマカトリック教会への分裂から賛美の変遷を辿っていきます。このローマカトリック教会からいよいよグレゴリオ聖歌の時代が始まります。

※地図は金澤正剛著「キリスト教音楽の歴史」（2001 年 2 月 22 日発行、日本キリスト教団出版局）「キリスト教各派の根拠地」より一部抜粋

賛美セミナーDVD CDも好評発売中



賛美セミナーⅡ
DVD 2 枚組

2015 年 11 月 7 日 大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000 円 (税込)

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなるリズムとことばに即した賛美実演（野田常喜）



賛美セミナーⅠ
DVD 2 枚組

2013 年 11 月 4 日 大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000 円 (税込)



賛美セミナーⅠ
CD 4 枚組

2013 年 11 月 9 日 東京セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000 円 (税込)

1. 賛美とは
2. 詩篇 51, 50 (悔い改めを通してささげる賛美)
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

※内容は DVD CD 共に同じです。

賛美セミナーⅡと賛美セミナーⅠのアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

10月 Oct.

30日(日) 15:00~ 宝塚栄光教会 チャペル・コンサート

12月 Dec.

11日(日) 18:00~ 柏原教会 クリスマス・コンサート
日本イエス・キリスト教団、大阪府柏原市**愛する皆さま** 主の御名をほめたたえます。皆さまのお祈りとご支援に心から感謝いたします。

9月、10月の活動報告

9月27日(火)に、NPO 法人ホームホスピス「のぞみの家」主催のコンサート&講演会、10月初旬には、ブラジル日系人教会連盟の依頼による、ルターの宗教改革記念コンサートのビデオ収録をいたしました。



9月27日のコンサートは、スイス在住のリュート奏者、今村泰典さんのテオルボ伴奏で歌わせていただく予定でしたが、コンサートの3日前、今村さんが道路横の深い溝に落下し、大腿骨、肩、小指、顔面などを骨折するという、全治 2~3 か月の大怪我を負いました。そのため、急遽、ピアニストの野田常喜さんに伴奏をお願いし、野田さんも私も、今村さんのために祈りながら、心を込めて歌い、演奏させていただきました。祈りを込めた演奏に、聴衆の方々も何か特別な

のを感じられたようで、多くの反響が寄せられました。

第二部は、全国ホームホスピス協会理事長の市原氏のビデオ・スピーチと、尼崎のホームホスピス「愛逢の家」の管理者であられる西川氏の講演があり、私も大変興味深く聞かせていただきました。ホームホスピスは、これからの高齢化社会のニーズを担う重要な働きになっていくと思います。

今村さんは、幸い、脳には異常はなく、意識もはっきりしておられ、10月下旬に介護者に付き添われてスイスに帰られました。現在、あちらの病院で治療とリハビリを続けておられます。どうぞ今村さんの快復のためにお祈りください。

ブラジルのルターの宗教改革コンサートは、これからポルトガル語訳の字幕などを入れて編集し、宗教改革記念日に合わせて YouTube で発信される予定です。公開されましたら、ホームページを通して皆さまにお知らせいたします。

今後の予定

10月30日(日)に宝塚栄光教会のチャペル・コンサート、12月11日(日)には柏原教会(大阪府柏原市)にてクリスマス・コンサートを予定しています。どうぞお祈りください。11月に予定していました北米ツアーは、コロナ感染の影響で延期になりました。

悔い改めの祈り

大阪の教会では、日本がこれまで犯してきた3つの罪の悔い改めに導かれるようになりました。

1. 日本全国津々浦々に広がる神社仏閣などの偶像礼拝。
2. 秀吉の時代から 280 年に亘ってクリスチャン(キリシタン)を迫害したこと。
3. 大戦時、アジアの国々で、神がつくられた国境・言語を奪おうとしたこと。

日本の国に信仰のリバイバルが起こされるために、祭司として召された日本人クリスチャンたちが、自分たちの国の罪を主の御前に悔い改めて行くことはとても大切だと思います。

黙示録 21 章にある天の都には、「諸国民は都の光の中を歩き、地の王たちは、自分たちの光栄をそこに携えて来る」「人々は、諸国民の光栄とほまれとをそこに携えて来る」とあります。日本の王が、その光栄を携えてそこに入れるように、また私たち日本国民が、主が与えてくださった日本人の光栄を携えてそこに入ることができるように、わが国の救いのために祈り、聖霊の力をいただいて奮闘してまいろうではありませんか。

皆さまに、主の恵みと守りがありますように。

工藤篤子



工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 事務局

Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様のこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)

普通預金0133752 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前を表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。



メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。

メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL

https://akworship.com/

※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。